名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	渡邊　雄己
科目名（英）	キャリアプランニングⅢ（Career planning Ⅲ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	（2）	曜日・時限	火曜日 2限 木曜日 1限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。
実務経験：２０１４年から県内大学生の陸上競技の競歩種目の指導に携わる。スポーツ指導はもとより、「経営マネジメント」をヒントにチームマネジメント力で競技力向上を図り、その結果、日本代表や全国優勝・入賞者を数多く輩出した。その実績から 2017年から、愛知県の競歩の強化コーチに就任し、現在に至る。

【到達目標】
職業人として必要なマナーや知識、技術を習得することを目的として就職活動に生かせる実践的なスキルを身につく事を目標とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	実践的な社会的スキルについて説明することができる
3回目	履歴書の作成を行うことができる①
4回目	履歴書の作成を行うことができる②
5回目	履歴書の作成を行うことができる③
6回目	面談のマナーについて説明することができる①
7回目	面談のマナーについて説明することができる②
8回目	面談のマナーについて説明することができる③
9回目	模擬面接①
10回目	模擬面接②
11回目	模擬面接③
12回目	模擬面接④
13回目	模擬面接⑤
14回目	まとめ
15回目	就職活動の心得を実践することができる
準備学習時間外学習	授業で習った内容を日常生活で活用していきましょう。
評価方法	１．定期試験（%）　２．小テスト（%）　３．レポート（%） ４．課題成果（100%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	就職活動に向けて実践的スキルを身につけることを目的にしています。積極的に授業参加をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	キャリアプランニング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松沢 恵美
科目名(英)	キャリアプランニングⅣ (Career planning Ⅳ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日時限	火曜日 2限

【授業の学習内容】

コミュニケーションや基本的対話スキルについて学ぶ。
他人との人間関係の構築や円滑なコミュニケーションスキルの基盤を学び、実践するスキルを身につける。
実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。病院併設の運動器リハビリセンターや、フィットネスクラブの立ち上げに も関わる。

【到達目標】

職業人として知識、技術、作法を習得することを目的として就職後に生かせる実践的なスキルを身につく事を目標とする。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	名刺交換のマナーについて説明することができる
3回目	名刺交換のマナーについて実践することができる
4回目	訪問時のマナーについて説明することができる
5回目	訪問時のマナーについて説明することができる
6回目	来客対応の模擬実践①
7回目	来客対応の模擬実践②
8回目	謝罪のマナーについてについて説明できる
9回目	クレーム対応について実践することができる
10回目	クレーム対応について実践することができる
11回目	クレーム対応の模擬実践①
12回目	クレーム対応の模擬実践②
13回目	会議やミーティングでの議論や意見交換を行うことができるスキルを実践できる
14回目	グループディスカッション①
15回目	グループディスカッション②、まとめ
準備学習時間外学習	社会人に向けた内容になっています。就職活動等でも活かしてください。
評価方法	1．定期試験（%）　2．小テスト（%）　3．レポート（%） 4．課題成果（100%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	就職後に向けて実践的スキルを身につけます。積極的に授業参加をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ビジネススキル	必修選択	必修	年次	2	担当教員	熊崎　悦子
科目名（英）	情報技術Ⅲ（Computer SkillⅢ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	2	曜日・時限	火曜日・4限

【授業の学習内容】

Word、Excel、PowerPointにおいて、情報技術ⅠおよびⅡよりもよりビジネスシーンに近い内容を行います。Wordでは、企画書を作成するのに便利な機能や名刺作成の習得、Excelでは、見積書、勤怠表などで使用する関数やアンケート集計に役立つピボットテーブルの習得、PowerPointでは、プロモーションに役立つ自動スライドショーの作成方法を習得することができるようになります。

実施者経験：専門学校にてWord、Excel、PowerPoint、ホームページ制作などのPCに関係する授業を約20年行う。就労移行支援事業所のPC講座を約9年行い継続中。Webサイト制作、プログラミングも請負中。（使用言語：ExcelVBA、AccessVBA、PHPなど）基本情報処理技術者、MOS Excel2019、工業高校教員2級を所持。

【到達目標】

ビジネスに必要な技術を習得することが目標です。

授業計画・内容	
1回目	Word1　段組みについて理解ができる
2回目	Word2　企画書の作成に便利な機能を習得する
3回目	Word3　通知書の作成方法を習得する
4回目	Word4　名刺を作成するための機能を習得する
5回目	Excel1　基本的な関数とグラフの作成について理解ができているかを確認する
6回目	Excel2　データベースとしての活用方法を習得する
7回目	Excel3　見積書や勤怠表で使用する関数や条件付き書式の設定方法を習得する
8回目	Excel4　ピボットテーブルの使い方を理解できる
9回目	Excel5　顧客管理をするための機能を習得する
10回目	Word&Excel　差し込み文書の機能を習得する
11回目	PowerPoint1　マスタースライドの変更方法を習得する
12回目	PowerPoint2　プロモーション用の自動スライドショーの作成方法を習得する
13回目	PowerPoint3　プロモーション用の自動スライドショーの作成ができる（課題作成）
14回目	定期試験　WordとExcelで行う。
15回目	解説
準備学習時間外学習	○Word　機能習得のための復習が必要です ○Excel　ピボットテーブルの使い方や条件付き書式の使い方の復習が必要です。 ○PowerPoint　プロモーション用の自動スライドショー作成のための事前準備として、デザインや写真、イラストの準備が必要です。
評価方法	１．定期試験（60%） ２．小テスト（%） ３．レポート（%） ４．課題成果（30%） ５．実地試験（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 ○PowerPointは、課題作成と提出にて評価を行う。 ○WordとExcelは、定期テストにて評価を行う。
受講生へのメッセージ	情報技術Ⅲでは、基本から少し発展した内容になります。授業の80%ほどで、ビジネスシーンにて使われるような内容を学習してもらいます。 即戦力としてPCを操作できるようになることを目標としています。

【使用教科書・教材・参考書】
○データ保存のための記録媒体　USBフラッシュメモリ
教材は、プリント対応

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	ホスピタリティ	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	三輪陽子 杉本佳史
科目名 (英)	ホスピタリティⅡ （Clinical Practrice Ⅰ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	金曜日 3限

【授業の学習内容】
さまざまな業界、業種で使用されているホスピタリティを学ぶことで、自身の分野への応用を考えていく。

【実務経験】
日本ホスピタリティ推進協会　ホスピタリティコーディネータ認定講師

【到達目標】
ホスピタリティ（付加価値共創）は、サービス（等価価値交換）の上に乗っているものです。どの分野、社会においてもホスピタリティが必要であることを理解し、実際に使いこなす（習慣づける）ことを目標とします。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	ホスピタリティ産業のトレンド
3回目	食に関するホスピタリティ
4回目	医療に関するホスピタリティ
5回目	宿泊に関するホスピタリティ
6回目	鉄道・船・航空に関するホスピタリティ
7回目	ホスピタリティのグループワーク
8回目	総括（まとめ）
9回目	コロナ禍におけるホスピタリティ
10回目	ホスピタリティを用いたビジネス戦略
11回目	ホスピタリティ校外実習①
12回目	ホスピタリティ校外実習②
13回目	スポーツ領域のホスピタリティ
14回目	海外のホスピタリティ
準備学習 時間外学習	

評価方法	1．講義の出席 2．レポート 3．資格試験	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格	・講義への出席日数 ・ホスピタリティ実践レポートの提出 ・アソシエイトホスピタリティコーディネータ試験（80点以上） ※上記3つすべてをクリアして単位認定とする
受講生への メッセージ	ホスピタリティという知識と習慣を身に付けて日本だけでなく世界へ羽ばたく人材になりましょう！		

【使用教科書・教材・参考書】
ホスピタリティ・コーディネータ教本
オンデマンド動画

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	解剖学	必修選択	必修	年次	2	担当教員	松沢　恵美
科目名（英）	機能的解剖学Ⅱ（Functional Anatomy Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	2	曜日・時限	火曜日・2限

【授業の学習内容】

アスレティックトレーナーとして機能的解剖学は正しい測定・評価につなげる為に重要な科目となります。正しいアライメント評価を行うにあたって、解剖学知識はもちろんのこと、機能的な面からみていける機能的解剖学はリハビリやトレーニングメニューを組んでいく為に必要となる分野です。関節の機能を理解し、動きの評価を行っていけるように習得していきます。

実施者経験：2003年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を取得。その後、ハンドボール、テニス、陸上競技を中心とした現場でｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ、トレーニング指導を担当。テニスにおいてはプロ選手の専属もおこない、日本テニス協会主催の国際大会においてオフィシャルトレーナーを務める。

【到達目標】

骨の部位名称・筋の起始・停止、関節の機能について細かく学ぶことで、トレーニング実技やアスリハ実技につなげることができる。日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験資格合格に向けて、解剖学知識を深める。

授業計画・内容	
1回目	全身の骨・筋の名称を確認し、理解を深めることができる
2回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、体幹の解剖学の理解を深めることができる①
3回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、体幹の解剖学の理解を深めることができる②
4回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、体幹の解剖学の理解を深めることができる③
5回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、下肢の解剖学の理解を深めることができる①
6回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、下肢の解剖学の理解を深めることができる②
7回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、上肢の解剖学の理解を深めることができる①
8回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、上肢の解剖学の理解を深めることができる②
9回目	各種トレーナー試験過去問題を通し、上肢の解剖学の理解を深めることができる③
10回目	確認テスト
11回目	外傷の発生メカニズムを理解できる（下肢）
12回目	外傷の発生メカニズムを理解できる（上肢）
13回目	外傷の発生メカニズムを理解できる（体幹）
14回目	定期試験
15回目	まとめ・解説

準備学習時間外学習	AT専門テキストを常に読み返し、復習としてまとめていくことが大切です。授業で触れない範囲も含め、自分自身でしっかり取り組み、覚えていくことを勧めます。		
評価方法	1. 定期試験（80%） 2. 確認テスト（10%） 3. 受講態度（10%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F不合格	
受講生へのメッセージ	解剖学を学ぶことは、実技の正確性につながります。指導していく上での説明や、傷害へのリスク管理等は、解剖学知識のあるトレーナーと無いトレーナーでは、全く変わってきます。知識を深め、より安全で効果的な指導ができるトレーナーを目指しましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト　2巻 「運動器の機能解剖」
プロが教える骨と関節のしくみ・はたらきパーフェクト辞典、プロが教える筋肉のしくみ・はたらきパーフェクト辞典

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	栄養学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	服部　千秋
科目名 (英)	スポーツ栄養学 (Sports Nutrition)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	金曜日・1限

【授業の学習内容】

スポーツ選手の食事は、スポーツの種目、ポジションにより内容は異なる。また減量や増量、筋力アップ、持久力アップなどの目的別によっても変わることを習得する。スポーツ選手への食事アドバイスにおいては食習慣を変容させるために必要なことを習得する。

実務経験　1993年-2000年 名古屋YMCAの職員として企業（中電や当時のNTT）の健康教育を担当、また高浜市いきいき広場でのダイエット教室で食事指導を担当、2007年-現在 代表をしている「スタジオィータ」での個別食事アドバイス、2006年-現在 高齢者の自主体操サークル、2016年-現在 デイサービスミライプロジェクト新瑞橋での集団食事指導。″ロロ

【到達目標】スポーツ選手の食事について、種目別、目的別、試合前の食事について習得し、説明できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、スポーツに関わる栄養素の復習、説明ができる。
2回目	スポーツ選手の基本的な食事について習得する
3回目	持久力アップのための食事について習得する
4回目	筋力アップのための食事について習得する
5回目	課題：自分自身の生活活動を記録して1日の必要摂取カロリーを算出する
6回目	課題：自分自身の食事を記録、食習慣についての問診を行い評価する
7回目	コンディショニングアップのための食事について習得する
8回目	試合前や遠征時の食事について習得する
9回目	水分補給・サプリメントについて習得する
10回目	食事アドバイス方法について習得する
11回目	食事アドバイス　グループワーク　対象者に合った食事アドバイスができる
12回目	食事アドバイス　グループワーク　具体的な食事内容をアドバイスできる
13回目	グループワークまとめ　定期試験対策
14回目	定期試験
15回目	解説
準備学習時間 外学習	グループワークでは必要に応じて食事内容を記録します。
評価方法	1．定期試験（70%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．グループワーク　(20%) 5．出席率・受講姿勢（10%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 定期試験　70% グループワーク　20% 出席率(受講姿勢）10%
受講生への メッセージ	栄養学はスポーツ選手のパフォーマンス向上に役立ちます。また自分自身の健康にも大きく関与します。 積極的に学んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
日本スポーツ協会　ＡＴ公認テキスト「スポーツと栄養」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	社会学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	
科目名（英）	スポーツ社会学 (Sports sociology)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	（2）	曜日・時限	土曜日・1限

【授業の学習内容】

スポーツの社会的影響だけではなく、社会の中のスポーツの在り方について学びます。その他、トップアスリートが抱える問題や遠征時などの環境についてどのように対応してくべきなのか実践例も含めた授業構成です。また、スポーツと社会との関わりを学び、スポーツに対して社会学的な観点からアプローチすることの重要性を学び、そこで得られた問題の解明方法などを具体例を交えながら学び、習得する。

実務者実績：成人・中高年者のスポーツ・ライフプロモーションとその便益に関する研究を積み、生涯スポーツを専門とする。マスターズスポーツのイベント企画や運営にも関わる。

【到達目標】

スポーツと社会情勢について理解して諸問題についての解決策などを考案・実践することを目的とする。
〈具体的な目標〉
目標①スポーツの文化やその歴史についての説明ができる
目標②アスリートに関わる社会学的問題とその解決方法について説明ができる
目標③スポーツチーム、集団、組織におけるそれぞれの社会的役割について説明ができる目標④スポーツと地域社会とのつながりについて説明ができる

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・スポーツと社会の実際について知ることができる
2回目	社会の中のスポーツについて説明することができる
3回目	日本のスポーツやスポーツプロモーションについて説明できる
4回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）①
5回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）②
6回目	トップアスリートを取り巻く問題について説明できる（海外遠征）③
7回目	中間試験
8回目	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任について説明できる
9回目	スポーツと人権について説明することができる①
10回目	スポーツと人権について説明することができる②
11回目	実際に発生したスポーツ事故について説明ができ、対応策を考案することができる①
12回目	実際に発生したスポーツ事故について説明ができ、対応策を考案することができる②
13回目	まとめ
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	ニュースの記事を日頃から読むことが大切です。社会の中でおこるスポーツに関する出来事を知っていくことで、スポーツを見る視野が広がります。まずは興味を持ちましょう。
評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（% 3．レポート（%） 4．課題成果（20%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	スポーツにおける社会的問題を考慮した指導者に向けた授業になっており、実際に起こっている例を知っていきながら、今後の対応策などを一緒に考えていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅰ・Ⅱ

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	基礎医学	必修選択	必修	年次	2	担当教員	井澤　秀野
科目名(英)	スポーツ医学Ⅱ（ Sports Medicine Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間(単位)	30(2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	月曜日 3限

【授業の学習内容】

1年次に学んできた、各競技スポーツにおける外傷・障害や一般の方に多い怪我などをトレーナーは、どのようにして症状の評価し把握をして、再発予防に向けてのトレーニングやストレッチ等を指導していくのかを理解し、実際にプログラム立案まで到達することを目標とする。

※実務者経験：2005年～2013年ヤマハ発動機ラグビー部トレーナー、2013年～現在　東海大学附属相模高等学校ラグビー部トレーナー、2015年～2016年　IBM　BIG BLUEアメリカンフットボール部トレーナー、2015年～2016年　セブンズラグビー日本代表トレーナー、2017年　栗田工業ラグビー部トレーナー、2018年～現在　富士通アメリカンフットボール部トレーナー、アメフト日本代表トレーナー、明治学院大学アメリカンフットボール部トレーナー。各チームにおいて、外傷発生時の応急処置、及び、選手のコンディショニング、リハビリテーションに携わる

【到達目標】

スポーツ外傷・障害に対する症状の把握、またスポーツ傷害の予防、リコンディショニングに対するメニュー作成・運動処方を修得する。　〈具体的な目標〉

目標①スポーツ活動時に多い外傷・障害が説明できる

目標②スポーツ障害の予防プログラム（ストレッチ等）が作成できる

目標③スポーツ外傷に対する評価方法が説明できる

授業計画・内容	
1回目	足部・足関節の外傷・障害について説明が出来る
2回目	大腿部・下腿部の外傷・障害について説明が出来る
3回目	膝関節の外傷・障害について説明が出来る
4回目	膝関節の外傷・障害について説明が出来る
5回目	腰・背部・骨盤の外傷・障害について説明が出来る
6回目	頚部の外傷・障害について説明が出来る
7回目	肩部の外傷・障害について説明が出来る
8回目	肘関節の外傷・障害について説明が出来る
9回目	手・手指の外傷・障害について説明が出来る
10回目	頭蓋骨骨折・脳損傷・脳振盪の外傷・障害について説明が出来る
11回目	脊髄損傷・胸腹部外傷・大出血の外傷・障害について説明が出来る
12回目	顔面・目の外傷・障害について説明が出来る
13回目	前期のまとめ・復習
14回目	定期試験
15回目	解答返却・解説

準備学習時間外学習	スポーツ外傷と障害を取り扱うにあたり、解剖学の復習が必要なります。また、リハビリテーションを取り扱うにあたり、1年次のスポーツ医学の内容の復習が必要になります。		
評価方法	1．定期試験　80（%） 2．グループ発表　20（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	定期試験（100%）で評価をします。
受講生へのメッセージ	外傷、障害の理解を深め、怪我や不定愁訴で悩む選手のニーズに応えていくこともアスレティックトレーナーには必要なスキルです。医学とﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを結び付けていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト　3巻　「スポーツ外傷・障害の基礎知識」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	基礎医学	必修選択	必修	年次	1	担当教員	西山 伸吾
科目名（英）	救急処置法						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ｉ部）			（単位）	2	曜日・時限	金曜日 2限

【授業の学習内容】

実施者経験：アスレティックトレーナーとして、大学のラグビーやアメリカンフットボール部で活動してきた経験がある。ラグビーやアメリカンフットボールはコンタクトスポーツであるため、外傷や脳震盪などの発生頻度も多く、発生時には救急処置が求められる。現場での活動経験を活かし、授業を進めていく。
救急処置法の授業では、外傷時、緊急時における救急処置について学んでいく。指導現場などで捻挫、打撲などの外傷や心肺蘇生法、頭部外傷など救急処置に対処できるよう処置方法を習得する。

【到達目標】

RICE処置や頭部外傷などの救急処置について説明ができる。
心肺蘇生法、頭部外傷、RICE処置などの救急処置の対応ができる。

授業計画・内容	
1回目	救急処置の基本的知について説明ができる。
2回目	スポーツ現場における救急処置について説明ができる。
3回目	外傷時の救急処置（RICE処置について）について説明ができる。
4回目	外傷時の救急処置（皮膚などの傷）について説明ができる。
5回目	緊急時の救命処置（頭部外傷）について説明ができる。
6回目	緊急時の救命処置（頸部外傷）について説明ができる。
7回目	緊急時の救命処置（心肺蘇生法）について説明ができる。
8回目	緊急時の救命処置（AED、気道異物除去）について説明ができる。
9回目	緊急時の救命処置（実技：心肺蘇生法、バックボードでの運搬）についての実習を行う。
10回目	緊急時の救命処置（応用、ケーススタディ：頭部外傷、心肺蘇生法）についての実習を行う。
11回目	内科的疾患の救急処置について説明ができる。
12回目	現場における救急体制について説明ができる。
13回目	救急処置まとめ
14回目	定期試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	前回の授業の復習を取り組んでください。また、救急処置法で学んだ知識を緊急時に活かすためにも「今、人が倒れたら自分に何ができる？何をしなければいけない？」と考え、イメージしましょう。緊急時に行動を起こせるように準備しましょう。
評価方法	１．定期試験（80%） ２．小テスト（0%） ３．レポート（0%） ４．課題成果（20%） ５．実地試験（0%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	救急処置は医療、スポーツ、フィットネスなど、どの分野でも必要とされる知識、技術です。また救急処置を求められる場面は突然やってきます。救急処置を的確に行うためには準備が必要です。その場面がきたときに正しく対処できるように学び、準備していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト８「救急処置」

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	エクササイズ基礎	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	泉原　佳世子
科目名 (英)	トレーニング概論 （　Introduction to Training　）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	（2）	曜日・時限	水曜日　2限

【授業の学習内容】

人体が動く仕組みや外的・内的刺激に適応していくメカニズム、またはトレーニングなどの様々な介入がもたらす効果の有無やその大きさの違いなどトレーニングに関わる知識を修得する。また、各自目的に合ったトレーニングメニューの作成方法を学ぶ。

＊実務経験:

※実務者経験：NSCA-CPT、健康運動実践指導者を取得し、フィットネスクラブにてパーソナルトレーニング、スタジオレッスンを担当。他、体操教室やバスケットボールスクール指導に携わる。

【到達目標】

エクササイズの意味・目的を正しく理解し、トレーナーとして選手やクライアントに最も有効なエクササイズやトレーニングの処方ができるようになる。〈具体的な目標〉目標①エクササイズの意味・目的が説明できる　目標②選手やクライアントに合ったメニュー作成ができる　目標③エクササイズの見本を正しく見せ、指導ができる

授業計画・内容	
1回目	トレーニングの概要・特性について説明ができる
2回目	スポーツ選手のパフォーマンスアップに関わるトレーニング要素について説明ができる
3回目	スポーツ選手に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる
4回目	ジュニア期に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる
5回目	女性に対するトレーニング処方に関する注意点について説明ができる
6回目	疾患を持った選手に対するトレーニング処方について説明ができる（リハビリテーションの観点から）
7回目	エクササイズによるスポーツ傷害予防プログラムの有効性について説明ができる
8回目	レジスタンストレーニングの特徴と注意点について説明ができる
9回目	有酸素運動の特徴と注意点について説明ができる
10回目	プライオメトリクストレーニングの特徴と注意点について説明ができる
11回目	スピード・アジリティの特徴と注意点について説明ができる
12回目	様々なストレッチングの特徴と注意点について説明ができる
13回目	フィットネス要素について説明ができる
14回目	定期試験
15回目	解答返却・解説

準備学習 時間外学習	トレーニングの要素や、各エクササイズの特徴を修得するにあたり、1年次に学ぶレジスタンストレーニングの内容を復習しておく必要があります		
評価方法	1．定期試験（100%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　S ８９～８０点　A ７９～７０点　B ６９～６０点　C ５９点以下　F不合格	定期試験で評価を行います
受講生への メッセージ	トレーニングを教えることは、トレーニングを積んだ一般人でもできることです。トレーナーとして仕事とするには、1つ1つのトレーニングの特徴をきちんと捉え、クライアントに合ったメニューを提供できる能力です。この授業を通じて、エクササイズの選択に必要な指揮を身に付けましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

公益財団法人　健康・体力づくり事業財団　健康運動実践指導者養成用テキスト

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	健康運動実践	必修選択	必修	年次	2	担当教員	泉原　佳世子
科目名（英）	健康運動実践指導者Ⅰ（Fitness Instructor Ⅰ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	**前期**
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	月曜3限

【授業の学習内容】

健康運動実践指導者の資格試験合格に向けて、各章ごとの内容を理解・習得する。

※実務者経験：NSCA-CPT、健康運動実践指導者を取得し、フィットネスクラブにてパーソナルトレーニング、スタジオレッスンを担当。他、体操教室やバスケットボールスクール指導に携わる。

【到達目標】

スポーツ指導の最も基礎となる資格の一つである健康運動実践指導者資格の取得をめざし、それに必要な知識を習得することを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	健康運動実践指導者とはどのような資格でどのようなことをするのかを理解し、説明ができるようになる
2回目	第1章　　世界の健康づくりと日本の健康づくりについての知識を習得し、その説明ができるようになる
3回目	第1章　生活習慣病やメディカルチェックについての知識を習得し、その説明ができるようになる
4回目	小テスト（第1章）
5回目	第2章　運動とエネルギー供給についての知識を習得し、その説明ができるようになる
6回目	第2章　筋線維タイプとトレーニングについての知識を習得し、その説明ができるようになる
7回目	第2章　呼吸器の働き、機能、運動時の変化についての知識を習得し、その説明ができるようになる
8回目	第2章　循環器の働き、機能、運動時の変化についての知識を習得し、その説明ができるようになる
9回目	第2章　酸素摂取量とトレーニングの適応についての知識を習得し、その説明ができるようになる
10回目	第2章　筋力の発達と低下についての知識を習得し、その説明ができるようになる
11回目	小テスト（第2章）
12回目	第4章　5大栄養素と食物選択ガイドについての知識を習得し、その説明ができるようになる
13回目	第4章　エネルギー消費量と減量計画についての知識を習得し、その説明ができるようになる
14回目	定期試験
15回目	試験解説

準備学習時間外学習	（準備学習）事前に次回行う内容をテキストで確認すること。2章の生理学、3章の機能解剖、4章の栄養学は昨年度の授業の復習をしておくこと。各章の確認テスト後は間違えた問題について、どこが間違ったのかを自分で調べること。
評価方法	1．定期試験（%）80% 2．小テスト（%）10% 3．レポート（%） 4．課題成果（%）10% 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格 定期試験（80%）、小テスト（10%）、課題成果（10%）で評価をします。
受講生へのメッセージ	健康運動実践指導者試験（筆記）は来年の１月下旬ごろですが約１年かけてしっかり準備をし、全員合格を目指し頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

健康運動実践指導者　養成用テキスト『健康・体力づくり事業財団』

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	健康運動実践	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大西　城太郎
科目名 (英)	健康運動実践指導者Ⅱ (Fitness Instructor Ⅱ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(4)	曜日・時限	月曜日 2.4限

【授業の学習内容】

健康運動実践指導者の資格試験合格に向けて、各章ごとの内容を理解・習得する。
※実務者経験：2001年　健康運動実践指導者資格を取得。2000年～現在に至るまでフィットネスクラブで会員の指導に関わり、これまでに多くのクライアントに対して、運動指導を行ってきた。

【到達目標】

スポーツ指導の最も基礎となる資格の一つである健康運動実践指導者試験合格のための知識と実技指導能力を身につける

授業計画・内容	
1・2回目	レジスタンストレーニングのシナリオ作り
3・4回目	レジスタンストレーニングの指導の実践
5・6回目	レジスタンストレーニング/エアロビックダンスの指導の実践
7・8回目	エアロビックダンスの指導の実践
9・10回目	５分間の指導の実践
11・12回目	模擬試験（実技指導）
13・14回目	無酸素性体力、有酸素性体力、体脂肪測定方法の説明ができるようになる
15・16回目	新体力テストと測定後の評価、測定に必要な条件について説明できるようになる
17・18回目	ウォーミングアップやクールダウン、ストレッチについての説明ができるようになる
19・20回目	ウォーキング、ジョギングについて説明できるようになる
21・22回目	エアロビックダンス、水中運動について説明できるようになる
23・24回目	レジスタンス運動、心理学的基礎について説明できるようになる
25・26回目	運動障害と予防について説明できるようになる
27・28回目	筆記試験
29・30回目	解説
準備学習時間外学習	練習問題の実践と間違った問題をテキストで内容を確認するなどして、知識を確実に自分のものにする
評価方法	１．定期試験（%）１００ ２．小テスト（%） ３．レポート（%）　４．課題成果（%）　５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	しっかり勉強して、全員合格を目指そう！

【使用教科書・教材・参考書】

『健康運動実践指導者養成用テキスト』(健康・体力づくり事業財団)

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	コーチング	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	大西　城太郎
科目名（英）	コーチング概論（Coach Introduction）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	（2）	曜日・時限	月曜日・3限

【授業の学習内容】

１．コーチングの基本的な知識を得る ２．コーチングの基本スキルの習得 ３．コーチングセッションの実践
４．スポーツスキルのコーチング方法を学ぶ
実務者経験：2000年～フィットネスクラブで会員の指導に関わるようになり、これまでに多くのクライアントに様々な指導を行ってきた。また、ラクロス部のトレーナーとしても多くの学生に様々な指導を行ってきた

【到達目標】

スポーツスキル、自分自身、クライアントなど様々な課題に対してのコーチングセッションが出来るようになり、それぞれの問題が解決できるようにする。

授業計画・内容	
1回目	コーチングを理解し、セッションを実践する
2回目	コーチングセッションの中で積極的傾聴を実践する
3回目	コーチングセッションの中で行動計画を立てることを実践する
4回目	動機づけについて理解し、なぜ大事なのか説明できるようになる
5回目	意図の明確化について理解し、なぜ大事なのか説明できるようになる
6回目	動機づけを高める方法について学び、目標設定をし、それを実践する
7回目	目標の具体化について理解し、なぜ大事なのか説明できるようになる
8回目	５感の優位性について理解し、５感の優位性を活かした話し方の実践をする
9回目	リフレーミングについて理解し、それを実践する
10回目	コーチングセッションを実践する
11回目	１年の振り返り（課題対応）
12回目	スポーツ技能の習得について説明できるようになる
13回目	集中法と分散法について説明できるようになる
14回目	筆記試験
15回目	解説
準備学習時間外学習	実際に習ったことを日々の生活の中で実践していくことがコーチングのスキルを身につけていくことにつながります。
評価方法	１．定期試験（80%） ２．小テスト（%） ３．レポート（20%） ４．課題成果（%） ５．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	なんとなく生活しているよりも、何か目標や目的をもって生活した方が生活にもハリが出ると思います。コーチングは生活にハリを出すためのスキルの一つです。自分自身をコーチングをしてよりよい生活を送れるようにしましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成テキスト

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	データ解析	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
科目名 (英)	動作解析Ⅰ (Motion Analysis Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	火曜日　3限・4限

【授業の学習内容】

世界中のあらゆる競技で活用されている分析ソフト（ダートフィッシュ）のノウハウを学び、分析を実践していく。

＊実務経験:

講師：株式会社ダートフィッシュ・ジャパン代表取締役　社長

【到達目標】

ダートフィッシュソフトを活用し、分析スキルを身につけることができる

授業計画・内容	
1回目	スポーツパフォーマンス分析入門を知ることができる
2回目	ライブキャプチャーについて学ぶことができる
3回目	映像の管理・再生・共有することができる
4回目	動作分析のアプローチ　基礎を学ぶことができる
5回目	動作分析のアプローチ　基礎比較を学ぶことができる
6回目	動作分析のアプローチ　データの表示と評価を学ぶことができる
7回目	高度な比較映像の分析ができる①
8回目	高度な軌跡映像の分析ができる②
9回目	ゲーム分析のアプローチ　基礎を学ぶことができる 動作分析とゲーム分析の違い、ゲーム分析におけるパフォーマンス分析ができる
10回目	タギングパネルの作成と設定　イベントデータをスマートデータへ表示を学ぶことができる
11回目	ゲーム分析結果のプレゼンテーション、モンタージュを学ぶことができる
12回目	ゲーム分析の実践できる
13回目	３Dアナライザーの設定、実践できる
14回目	分析プレゼンテーション作成ができる
15回目	成果発表とテスト
準備学習 時間外学習	各競技に興味を持ち、動画やニュース画像などを日ごろから見るようにしていきましょう。
評価方法	1．定期試験　70（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果　30（%） 5．実地試験（%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生への メッセージ	動作分析ができるように、積極的姿勢で参加しましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）

・USB、PCを用意して下さい。

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	パフォーマンス	必修選択	必修	年次	2	担当教員	北村　悠香
科目名（英）	テーピング応用（Taping　advance）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			（単位）	2	曜日・時限	火曜日 4限

選手やクライアントの方に発生する外傷や障害に対して、的確にテーピングを行う必要がある。各外傷や障害に対しての知識、その部位に対しての解剖学的知識を習得したうえでテーピングを選択し実施する。本授業終了時には各外傷や障害、その部位についての知識、併せてテーピングを正確に選択、実施するための技術を習得する。
実務経験：2009年に日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを取得。2009年～現在、中部大学春日丘高等学校ラグビー部にてアスレティックリハビリテーションやコンディショニング指導を行う。また、スポーツ整形外科にて一般の患者からアスリートへのアスレティックリハビリテーションを行い、現在はデイケアセンターにて高齢者の介護予防の運動指導も行っている。

【到達目標】
各外傷、障害についての知識や解剖学的知識を習得する。そして、選手やクライアントの方にただテーピングを実施するだけでなく、使用するテープの目的、各手順ごとのテーピングの目的までを正確に説明できる。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	足関節内反捻挫に対するテーピングを習得する
3回目	足関節に対するテーピングを習得する
4回目	足部・足趾に対するテーピングを習得する
5回目	膝関節の外傷に対するテーピングを習得する
6回目	膝関節の外傷に対するテーピングを習得する
7回目	肉離れ・打撲に対するテーピングを習得する
8回目	腰部・股関節に対するテーピングを習得する
9回目	肩関節の外傷に対するテーピングを習得する
10回目	肩関節の外傷に対するテーピングを習得する
11回目	肘関節の外傷に対するテーピングを習得する
12回目	手関節・手指の外傷に対するテーピングを習得する
13回目	定期試験
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	テーピングを実施するためには、解剖学的知識と、その部位に起こりうる外傷や障害に対しての知識が必要です。その為、各部位の解剖学、外傷や障害についての予習が必要です。また正確な技術を習得するために、繰り返し実践練習をしていく必要があります。
評価方法	１．定期試験（８０％） ３．レポート（２０％） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	実際のスポーツ現場では、様々な怪我に遭遇する事が想定されます。その際、選手やクライアントの方に正確なテーピングを行うために、身体や外傷に対する知識と共に、正確なテーピング技術を習得していってください。考えながらテーピングを行うことで、技術向上を目指してください。

【使用教科書・教材・参考書】
日本スポーツ協会公認　アスレティックトレーナーテキスト第６巻　予防とコンディショニング

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	パフォーマンス	必修選択	必修	年次	2	担当教員	大西　城太郎
科目名(英)	プログラミングデザイン (Programming Design)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ・Ⅱ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	火曜日・３限

【授業の学習内容】

フィットネスクラブやスポーツジムなどに通ってこられるお客様は、どのようにトレーニングすればよいのか、どんなトレーニン グが効果的なのかなど様々な疑問を持たれている方が多く存在しています。それらのお客様に対して、このようなトレーニング方法がよいのか、このマシンを使ってトレーニングをした方がよいなど、トレーニングプログラムを作成するために必要なトレーニングの知識、プログラム作成に必要な手順や方法などを学び、実際にトレーニングプログラムが作成できるようになる。
実務者経験：2000年～フィットネスクラブで会員の指導に関わるようになり、これまでに多くのクライアントに様々な指導を行ってきた。また、ラクロス部のトレーナーとしても多くの学生に様々な指導を行ってきた

【到達目標】

トレーニングをする人にマシンや有酸素系マシンの正しい使い方を説明できるようになるとともに、様々な人に対して、その人の求めるトレーニングプログラムが作成できるようになることを目標とする。

授業計画・内容	
1回目	トレーニングマシンの使い方の説明ができるようになる。
2回目	トレッドミルや自転車エルゴメータなどの使い方の説明ができるようになる。
3回目	ダンベルを使ったトレーニングの説明ができるようになる
4回目	トレーニングメニューの作成のための問診の必要性を理解し、それができるようになる
5回目	上肢のメディカルチェックをし、それの評価ができるようになる
6回目	下肢のメディカルチェックをし、それの評価ができるようになる
7回目	可動域改善のための体操を実践し、指導ができるようになる
8回目	可動域改善のための体操を実践し、指導ができるようになる
9回目	プログラム作成のための注意点やポイントについて説明ができるようになる
10回目	プログラムの作成（２０代女性をモデルに）
11回目	プログラムの作成（４０代男性をモデルに）
12回目	プログラムの作成（７０代女性をモデルに）
13回目	プログラムの作成（アスリートをモデルに）
14回目	筆記試験
15回目	実技試験
準備学習時間外学習	説明やプログラムの作成は何度も繰り返すことが重要です。実際にマシンやフリーウエイトを使って説明の練習をする、プログラムを作るためにはどのようなことをクライアントから聞き出せばよ良いかなどテキストや他の授業のテキストなどで確認するなどしてもらえると授業が進めやすいです。
評価方法	１．定期試験（%）５０ ２．小テスト（%） ３．レポート（%）　４．課題成果（%） ５．実地試験（%）５０ 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	実際に働き始めたら、お客様に様々な質問をされると思います。その質問に対して答えられるだけの知識を身につけ、お客様の役に立てるようしっかり勉強していきましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

『健康運動実践指導者テキスト』(健康・体力づくり事業財団)、適宜プリント配布

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	コンディショニング	必修選択	必修	年次	2	担当教員	武山　修
科目名(英)	コンディショニング演習Ⅰ (Conditioninng Seminar Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	2	曜日・時限	木曜日 1限

【授業の学習内容】

コンディショニング概論で学んだ知識を基に実際の現場で必要な技術を修得する。コンディショニングに必要な様々な技術を対人に行い技術を修得する。

実施者経験：2009年よりアスレティックトレーナーとしてプロ、実業団、学生など様々なカテゴリーのコンディショニングに携わっている。

【到達目標】

知識や技術を理解、修得するだけでなく、対人にどのように指導できるかなどコミュニケーション能力も同時に修得する。

授業計画・内容	
1回目	ストレッチングの概要について説明できる。
2回目	ストレッチングの種類と方法について説明ができる。
3回目	ストレッチングの実技を実践することができる。①
4回目	ストレッチングの実技を実践することができる。②
5回目	ウォーミングアップの概要について説明ができる。
6回目	クーリングダウンの概要について説明できる。
7回目	ウォーミングアップの実技を実践することができる。
8回目	クーリングダウンの実技を実践することができる。
9回目	スポーツマッサージの概要について説明できる。
10回目	スポーツマッサージの実技を実践することができる。①
11回目	スポーツマッサージの実技を実践することができる。②
12回目	スポーツマッサージの実技を実践することができる。③
13回目	まとめ
14回目	定期試験
15回目	試験解説
準備学習時間外学習	実技に入る前にそれぞれの概要の講義を行いますので、実技に入る前にその概要について復習し理解を深めておく。
評価方法	1．定期試験（80%） 2．小テスト（20%） 評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格
受講生へのメッセージ	コンディショニング概論で学んだことを実践していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門テキスト　6巻　予防とコンディショニング

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	スポーツビジネス	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水谷　匡宏
科目名(英)	スポーツビジネス演習Ⅱ (Sports Business Seminar Ⅰ)						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜日　3限

【授業の学習内容】

映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。

＊実務経験:

映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。スポーツ分野だけでなく、食・ウェディング業界など、幅広い分野において映像制作をおこなっている。

【到達目標】

映像制作の基礎を習得する。
スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標
2回目	基本的な動画制作のステップを習得する
3回目	映像制作の基礎について実習を行う。
4回目	写真撮影の基礎を習得する。
5回目	映像の編集準備　Ⅰを習得する
6回目	映像の編集準備　Ⅱを習得する
7回目	映像の編集準備　Ⅲを習得する
8回目	映像の編集準備　Ⅳを習得する
9回目	映像制作①の実習を行う
10回目	映像制作②の実習を行う
11回目	映像制作③の実習を行う
12回目	映像制作④の実習を行う
13回目	映像制作⑤の実習を行う
14回目	映像制作⑥の実習を行う
15回目	前期期末試験
準備学習時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。

評価方法	1．定期試験（50%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（50%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	1．定期試験　50（%） 4．課題成果　50（%）
受講生へのメッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう		

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）
・USBを持参して下さい。

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	制作	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水谷　匡宏
科目名（英）	映像テクニカルⅠ（Video Technogy Ⅰ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜日　2限

【授業の学習内容】

映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。

＊実務経験:

映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。

【到達目標】

映像制作の基礎を習得する。

スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標を理解する
2回目	映像制作①の実習を行い、説明できる
3回目	映像制作②の実習を行い、説明できる
4回目	映像制作③の実習を行い、説明できる
5回目	映像制作④の実習を行い、説明できる
6回目	映像制作⑤の実習を行い、説明できる
7回目	映像制作⑥の実習を行い、説明できる
8回目	映像制作⑦の実習を行い、説明できる
9回目	映像制作⑧の実習を行い、説明できる
10回目	映像制作⑨の実習を行い、説明できる
11回目	映像制作⑩の実習を行い、説明できる
12回目	映像制作⑪の実習を行い、説明できる
13回目	映像制作⑫の実習を行い、説明できる
14回目	前期期末試験
15回目	まとめ

準備学習時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。		
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	1．定期試験　50（%） 4．課題成果　50（%）
受講生へのメッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう		

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）

・USBを持参して下さい。

名古屋医健スポーツ専門学校　2023年度 シラバス

授業	制作	必修選択	必修	年次	2	担当教員	水谷　匡宏
科目名（英）	映像テクニカルⅡ（Video Technology Ⅱ）						
学科	スポーツマネジメントテクノロジー科	授業形態	講義	総時間（単位）	30（2）	開講区分	後期
コース	昼間（Ⅰ部）					曜日・時限	金曜日　2限

【授業の学習内容】

映像を使ってスポーツの新しい可能性を考えて、技術を習得する。

＊実務経験:

映像制作会社の取締役として映像の開発・制作を担う。

【到達目標】

映像制作の基礎を習得する。

スポーツと映像の現状と新しい活用方法を考える

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・カリキュラムの目的・到達目標
2回目	映像制作①の実習を行う
3回目	映像制作②の実習を行う
4回目	映像制作③の実習を行う
5回目	映像制作④の実習を行う
6回目	映像制作⑤の実習を行う
7回目	映像制作⑥の実習を行う
8回目	映像制作⑦の実習を行う
9回目	映像制作⑧の実習を行う
10回目	映像制作⑨の実習を行う
11回目	映像制作⑩の実習を行う
12回目	映像制作⑪の実習を行う
13回目	映像制作⑫の実習を行う
14回目	前期期末試験
15回目	まとめ

準備学習時間外学習	映像に興味を持ってその活用方法と今後の可能性を考察する。		
評価方法	1．定期試験（%） 2．小テスト（%） 3．レポート（%） 4．課題成果（%） 5．実地試験（%）	評価方法はＧＰＡ制度となります １００～９０点　Ｓ ８９～８０点　Ａ ７９～７０点　Ｂ ６９～６０点　Ｃ ５９点以下　Ｆ不合格	1．定期試験　50（%） 4．課題成果　50（%）
受講生へのメッセージ	映像の制作（企画・撮影・編集）の技術と考え方を基礎にスポーツでの映像の新しい活用方法考えて行きましょう		

【使用教科書・教材・参考書】

・講師が教材を用意いたします。（プリント配布・データー）

・USBを持参して下さい。